



小倉さんの西ユタカ



旦那さんと一緒に1つ1つ丁寧に収穫しています。



予想に反して昨年同様に大きく立派に育ちました。



お茶の時間を山倉家と共に。木陰で話も弾みます。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎今年の北アカリは玉が肥大せず、見た目はあまりきれいではありません。もちろん味には全く問題ありませんので予めご了解下さい。

★待ちに待った新ジャガの登場です

梅雨入りしたというのに雨は少なく、畑はカラカラ状態が続いています。畑は土埃がひどい状態で、メンバー全員が「ちゃんと降って欲しいよな」と雨を待っています。ただ収穫の作業だけはやりやすく、小倉さんもみなさんが待ちに待った新ジャガの西ユタカをどんどん掘り上げています。

西ユタカは早い時期に出回る代表的な品種で、やや固めで煮崩れしないので、煮物やカレーなどに向いています。小倉さんの話では、今年の西ユタカは芽がなかなか出ず半ば諦めていたそうなのですが、掘ってみたら予想に反してきちんと育っていてびっくりしたそうです。

「3月頭に植えたのが4月に入っても芽が出なかったのよ。田んぼの代掻きをしている4月半ばぐらいからようやく芽が出始めたのだけど、もう間に合わないな、今年は小さくても仕方が無いな、と思っていたの。でも掘ってみたら、よくそここまで育ったな~という感じなのよ」

一昨年の西ユタカは大不作で去年は好調、今年は予想に反して大きく育ちました。

「前作が何かの違いはあるけど、肥料は同じだし、それでも毎年違うのよね。不思議よね」

ちょうど隣の畑でおかげさまのメンバーでご近所の山倉家が北アカリを収穫していました。10時の休憩で一緒にお茶をしながらジャガ芋のことや田んぼのことなど色々おしゃべりを楽しみ、そしてお昼までもう一踏ん張り。あと少しで全ての西ユタカの収穫が終わりそうです。